

厚生労働省和歌山労働局発表
平成25年2月1日(金)

厚生労働省和歌山労働局
 職業安定部職業安定課
 課長 木村 孝
 労働市場情報官 石川 正義
 電話 073(488)1160

一般職業紹介状況(平成24年12月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.05ポイント上昇の0.91倍で、3か月連続で前月を上回った。

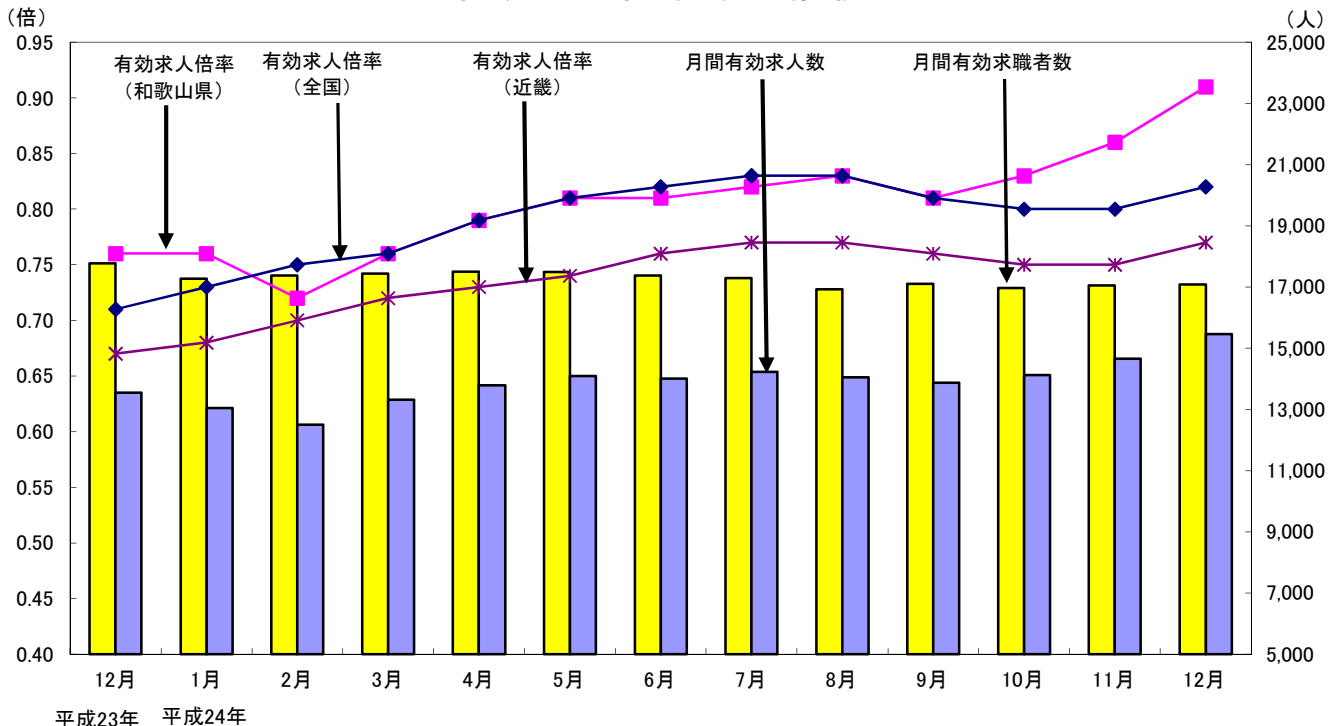
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍で、前月より0.02ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.77倍で、前月より0.02ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.33倍で、前月より0.15ポイント低下。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比16.1%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比1.9%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
 季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
 有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より 0.15 ポイント低下の 1.33 倍で、3 か月ぶりに前月を下回った。

全国の新規求人倍率(季節調整値)は 1.31 倍で、前月と同水準。

近畿の新規求人倍率(季節調整値)は 1.25 倍で、前月より 0.02 ポイント低下。

有効求人倍率(季節調整値)は 0.91 倍となり、前月を 0.05 ポイント上回った。また、平成 24 年平均の有効求人倍率は 0.81 倍で、前年より 0.10 ポイントの上昇となった。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より 0.05 ポイント上昇の 0.48 倍で、30 か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数(原数値)は 4,880 人で、前年同月比 16.1%増(6 か月連続増)となった。

有効求人数(原数値)は 14,550 人で、前年同月比 14.3%増(9 か月連続増)となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、

「製造業」(245 人増)、「教育,学習支援業」(167 人増)、「医療,福祉」(129 人増)、「宿泊業,飲食サービス業」(89 人増)などで増加し、「生活関連サービス業,娯楽業」(41 人減)、「公務・その他」(24 人減)などは減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は 2,464 人で前年同月比 3.6%増、パート求人数は 2,416 人で前年同月比 32.4%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数(原数値)は 2,828 人で、前年同月比 1.9%減(2 か月連続減)となった。

有効求職者数(原数値)は 14,814 人で、前年同月比 3.7%減(21 か月連続減)となった。

(2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は 590 人で前年同月比 9.5%増(2 か月ぶり増)、離職者は 1,835 人で同 1.8%増(3 か月連続増)となり、離職者のうち事業主都合離職は 531 人で同 12.5%増(3 か月連続増)、自己都合離職は 1,197 人で同 0.7%減(3 か月ぶり減)、また、無業者は 361 人で同 27.5%減(13 か月連続減)となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は 3,927 人で、前年同月比 8.5%減(5 か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は 1,210 人で、前年同月比 9.0%減(2 か月連続減)となった。

5 まとめ

原数値で見ると、前年に比べ、新規求職者は 2 か月連続で減少となり、有効求職者は 21 か月連続で減少している。また、求人の動向をみると、新規、有効とも連続して増加していることから、有効求人倍率(季節調整値)は 3 か月連続で前月を上回った。雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている。